

秦野市剣道連盟 令和 6 年度事業報告と令和 7 年度の方針

1. 総括

(注：下記アンダーラインは R7 年度の方針です。)

本年度も剣道大会、講習会、審査会、稽古会などほとんどすべての行事を無事に終了できました。ご尽力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

今年度も、①剣道活動の活性化 ②広報・普及活動の強化の 2 点を重点項目とし進めて参りました。関係各位のご尽力により、秦野市剣道連盟の登録人数は約 10 年前の 200 名に迫ってきました。一方、準会員（主に小学生）の登録人数の低下が続いており大きな課題として残っています。

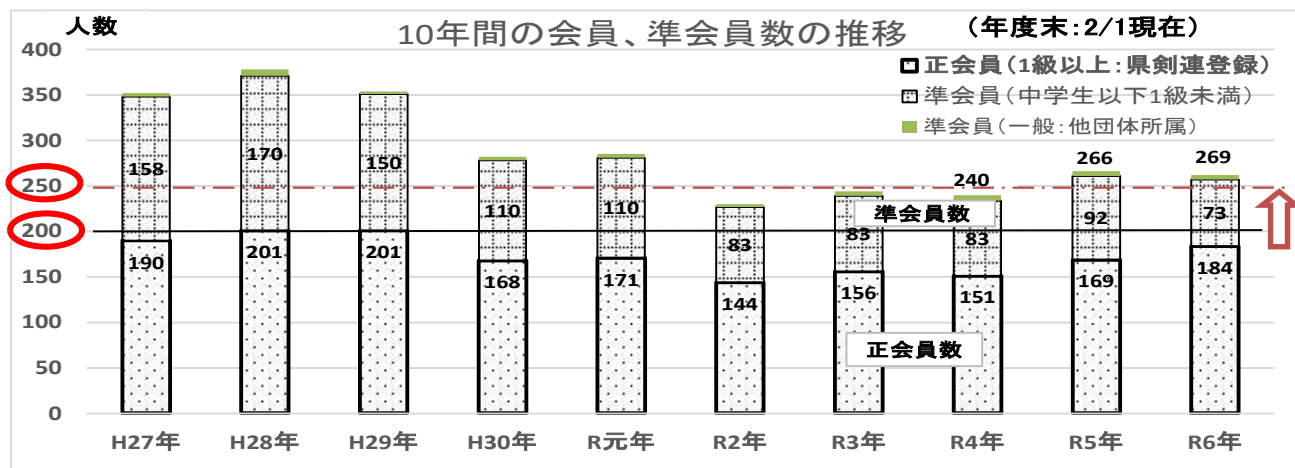
令和 7 年度も、上記の重点 2 項目を継続し各種活動を実施しますが、特に、市内各道場への支援や武道祭・体験会・広報活動の拡充などを通じ、小学生の剣道人口拡大へ努力したいと考えています。

また、R6 年度には神奈川県剣道連盟の不適切な会計処理・ハラスメントなど問題が発生し、現在、再発防止として 2025 年度の法人化、等々の改革が進行中です。秦野市剣連としてもオープンな運営・透明性のある会計処理を継続して行っておりますが、今年度は、県剣連での問題の一つであった会計監査の厳格化等をお願いしました。その他にも、まだ改善すべき項目も有ると考えておりますので、皆様からの忌憚のないご意見ご要望をいただき、活動へ反映させたいと考えています。

関係各位のご支援ご協力をお願い致します。

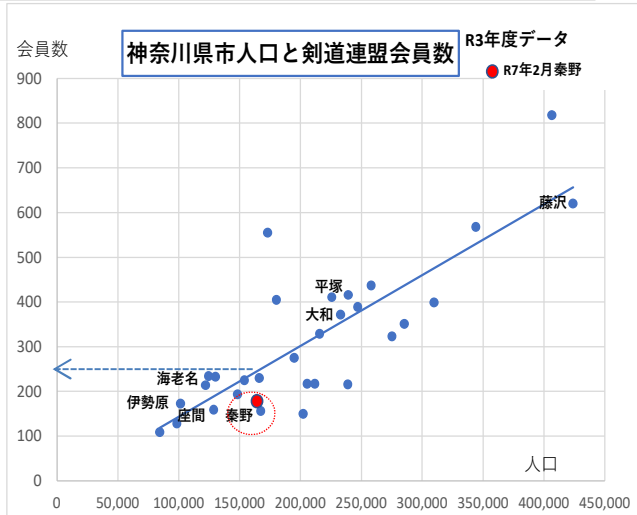
2. 秦野市剣道連盟登録人数について

正会員数は、ここ数年 150 名規模にとどまっていますが、R6 年度は 184 名（居合道を含めると 198 名）と従来の 200 名に近づいてきました。一方、課題は以下 2 点です。



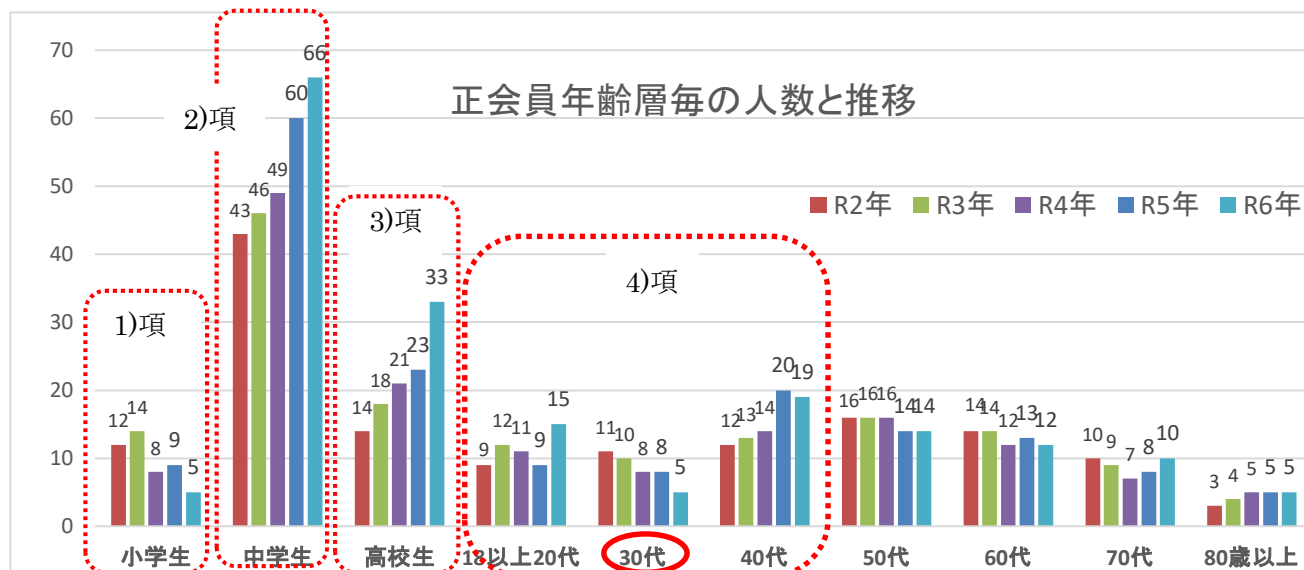
① 正会員数は、右図のように、他連盟の各市人口と正会員数を比較すると近似線より下方にあります。
正会員数の目標は 250 名程度が妥当と考えます。

② 準会員数は上図過去 10 年で最低数となりました。剣道を始めて比較的初心者の人数を示す準会員数の減少は、将来にわたり大きな課題です。
準会員数はひとまず 100 名規模に、早く回復させたいと考えています。一方、少子化・趣味の多様化などの影響が避けられない環境下で、今後小学生への剣道普及に更に注力した活動を行う必要があると考えています。



3. 各年齢層へ向けた施策

正会員と準会員数の増大化（数値目標：正会員数は 250 名 準会員数 100 名）へ向け、年齢層の分析を基に、諸施策を進めたいと考えています。



1) 小中学生 初心者層の拡大（小中学生の勧誘推進）：園児への拡大【2025 年度重点項目】

この度弘武館は、長年東海大学剣道部のサポートで活動していましたが、2025 年には 2 名となることから運営が難しくなり、解散することとなりました。小学生対象の弘武館道場が無くなることは大変残念なことです。状況を鑑みると致し方なしです。本件に対しては、在籍中のお子さん含め、渋沢地区の小学校への展開について、何とかカバーする方策を検討します。

前述したように、秦野市全体を見ても小学生の剣道人口拡大は重点項目として、以下の施策を具体的に実施したいと考えています。各団体含め関係者の強力なご協力をお願いします。

意見交換及び施策打合せ。（秦武館・土道館・秀宣館・剣友会・南矢名剣道クラブ（於 4 月理事会））

- ① 勧誘（口コミ、SNS 活用、学校へのビラ配布等）推進の強化。（団体）
- ② 武道祭の有効活用（小学生をターゲットに道場への体験教室等への勧誘等）（普及部・団体）
- ③ 市連盟主催の体験教室の実施（夏休み親子剣道教室等 4 月末までに計画要）（普及部・団体）
- ④ 各団体の体験教室の頻度アップ・宣伝強化（団体）
- ⑤ 幼稚園・保育園への展開（普及部・団体）趣味多様化を鑑み入学前への“刷り込み”を実施。また、ご要望により市連盟の推薦などのバックアップも行います。
- ⑥ 広報活動強化：新聞等（スポーツライフ秦野・タウンニュース）への剣道記事の展開（広報部）（継）

2) 中学校地域連携部活動を通じた全体レベルの向上【体系的な剣道指導と剣道の楽しさ醸成】

今年度も多くの先生方のご協力を得ながら、連盟としても力を入れ進めました。金木範士の指針をベースに昨年度のアンケート調査結果も取り入れた内容で計 10 回実施。中学生としては、他校生との交流、多くの先生からの系統的な指導を受ける良い機会になっていると考えています。また、今年度の新たな取り組みとして、各人で問題意識と目標をもってもらうため、各要素での達成度レーダーチャートを作成しながら、具体的な改善点へ結びつけるように個別指導も実施しました。

・今年度地域部活動協力者登録の（金木、萩、高橋、松田、萩原（浩）、草野、柴田、大角地、志村、貞弘、黒崎、渡會）の各先生方には、熱心なご指導をいただきました。改めて感謝いたします。

R7 年度も、アンケート結果なども反映させ、更に充実した内容とする所存です。また、生徒さんにとって良い機会だと思いますので、学校サイドと連携し出席率の向上も図りたいと考えています。R7 年度は 5/24 から開始し、年間 10 回を予定しています。生徒さん全体の底上げと共に、地域部活動のポスターを工夫し、校内へ掲示するなど、新入生の剣道部入部にも寄与させたいと考えています。

3) 高校生（剣道 2, 3 段層）の剣道継続と拡充

剣道界では、高校生になって剣道をやめる生徒さんが増えてきていることにも危機感を覚え、県剣連でも対応へ向け昨年研究会（河合先生出席）が開催されました。秦野市ではその課題は残っていますが、各道場に所属している中学卒業生も継続フォローしていただいた成果で、数値的には市連盟の高校生の正会員は増大しました。引き続き、道場でのフォローをお願いします。（団体）

尚、一昨年以來、秦野市内高校（秦野高校、秦野総合高校、秦野曾屋高校）と事務局の連絡体制を整えましたが、更に連絡を密にし、高校生への市内の大会やイベントへの参加の働きかけを行う予定です。

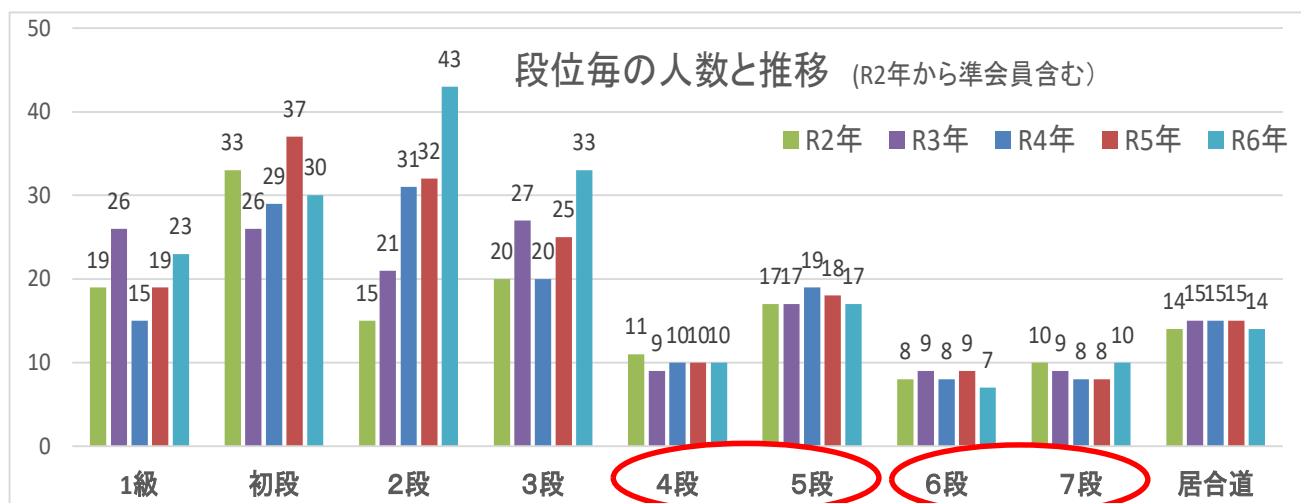
また、逆に市内高校への稽古会に招かれた際には、市剣連の皆さんに参加の呼びかけを強化し、市内高校生との交流を深めたいと考えています。（大会部、事務局、審査部）

4) 若手中堅層（20～40 歳代） & 3 段～6 段層の拡充

前頁にあるように、特に 30 歳代の人員は 5 名と減少は顕著です。年齢的にも公私多忙の年齢層ではありますが、各道場のキーパーソンを中心に輪を広げ、各道場責任者から若手中堅層の稽古会等の参加を促していただきたいと考えています。対外試合へも積極的に参加を要請したいと考えています。

一方、下図の段位毎の人数構成の図からわかるように、2, 3 段は増加しましたが、やはり、4, 5 段以降は低調な状況が続いています。

来年度の 4 段～7 段の受審有資格者は、それぞれ 4 段受審有資格者 16 名（内 19～22 歳 7 名）、5 段：2 名、6 段：10 名、7 段：3 名です。積極的にチャレンジしてほしいと考えています。稽古会や講習会等への参加呼びかけ等、昇段へ向けても各種バックアップを図っていきます。今年度は審査に備えた実技勉強会を 4 月（4/27（日）AM）に実施できればと考えています。（4・5 段審査日 5/25, 11/23, 2/15）



4. 秦野市剣道連盟主催行事

1) 秦野市土曜稽古会（指導部：高橋）

土曜の稽古会は、小中学生の剣道普及と上達に向け、限られた指導者の中で、今年度から指導者の都

合に合わせて輪番制にて指導を行いました。原則は下記時間帯。(17:30～18:00 は開放、自由稽古)

○通常土曜日 18:00～19:30(小中学生主体) 19:30～20:00(形稽古) 20:00～21:00(一般)

○中学校地域部活動土曜日 活動終了後 11:30～12:30(小中学生～一般)(夜稽古はなし)

参加人員としてはコロナ禍前と比べ、やや少なくなってきました。

剣道上達はやはり稽古量と質です。同日に稽古のない道場・中学生の積極的な参加をお勧めしています。積極的に参加してください。尚、17:30～18:00 の稽古指導はしません。場所は時間帯予約の関係から確保していますが、指導者等原則不在ですので、自己責任においての稽古となります。

2) 小中学生の強化(秦野市強化選手養成制度の有効活用)(指導部：高橋)

各団体から推薦により選出された小中学生が集合し定例としては、毎月 1～2 回合同稽古会を実施しました。この中から秦野市代表として対外試合に出場し、試合結果・内容を見ると、徐々に成果が出てきています。

R7 年度も引き続き強化練習を実施予定です。一方、各団体指導者や保護者からのご要望を伺い、より有効な取り組みにしていきたいと考えております。現在、団体・指導部間にて夫々のご要望なども参考に、別途打合せをしております。決定次第、至急ご連絡します。

3) 休日(日曜)稽古会と四市合同稽古会 (指導部：高橋)

2024 年度も月 1 回程度で 10 時～12 時の時間帯にて実施しました。(場所は 9 時～13 時まで予約)

R7 年度も別紙計画通り、小学生から一般まで、自由稽古を月 1 回程度実施します。

また、一般対象で四市(伊勢原・厚木・座間・秦野)合同稽古会を 5/19(日)に秦野で多くの剣友の参加のもと実施しました。高校生以上から一般までの先生方の研鑽と交流を深めようとするものです。

来年度は 4/6 に座間市体育館で実施の予定です。奮ってご参加下さい。

4) 秦野市剣道連盟交流錬成会(大人の錬成会)(企画：石橋先生・貞弘先生)

武道祭(6/30)の午前中に初めての試みで実施。当日編成の男女無差別の 3 人制団体戦で、交代での審判等、ハードなところもありましたが、楽しい稽古会となりました。新たなチーム編成で良い機会ともなり有意義な稽古会でもありました。体育館管理者の連絡で、来年度は使用料を払う必要がありますが、皆が集まる良い機会なので、何らかの形で武道祭前の行事は継続して実行したいと考えています。

5) 剣道研修会(普及部：林)

○指導者研修会(4/28) 中学校の地域部活動指導者を中心に、指導の留意点、指導法等のすり合わせのため座学を中心に実施。実技では『手の内』の指導勉強会を実施。

○審判法、係員講習会(6/9) 参加：37 名(内：係員 15 名)《昨年度 40 名》

○剣道形講習会(9/18) 参加：26 名(一般 13 名、中学生 13 名)《昨年度 32 名》

・練度に応じて 3 グループに分けて実施。

○審判法、係員講習会(1/26) 審判法参加：13 名(一般 9 名)《昨年度は 44 名(一般 18 名)》、
係員参加 8 名《昨年度は係員講習は無し》

審判法と剣道形は、剣道上達のために、通常稽古と同様、繰り返し研鑽する必要があります。

令和 7 年度も例年通り計画しています。特に審判法は審判員不足が問題となっていますので、積極的な参加をお願いします。

6) 連盟主催剣道大会 (大会部：萩)

○第 4 回丹沢剣道祭(2024 年 3/20：午前)

R6 年剣道祭は、審判員不足などから、昨年 5 会場から 4 会場にし、招待は平塚を加え 7 団体（中郡、小田原、厚木、大和、伊勢原、綾瀬、平塚）参加 16 チーム、内秦野 3 チームが出場。《前年度招待 6 団体 19 チーム（95 名）内秦野 6 チーム》優勝厚木 A、準優勝平塚 A

令和 7 年 3 月（第 5 回剣道祭）も関係各位のご協力にて予定通り開催。今回は、小学生選手は男女の区別なく、また係員は中学生にもお願いしています。秦野チームは 4 チーム出場。

○第 11 回秦野市青少年剣道祭(2024 年 3/20：午後)

R6 年青少年剣道祭は、参加者 126 名(昨年度 121 名)でした。 高校生の剣道継続の期待も込めて、高校生枠を広げて実施参加者は増えました。一方、小学生の参加は減少しました。

- ・小学生の部 9 チーム 41 名 (49 名)：優勝 士道館 A 準優勝 秀宣館 A 3 位 秦武館 A 南矢名
- ・中学生女子の部 10 チーム 28 名 (24 名)：優勝 秦武館 A 準優勝 秀宣館 A 3 位士道館 A
- ・中学生男子の部 11 チーム 33 名 (36 名)：優勝 秀宣館 A 準優勝 秀宣館 B 3 位洪中
- ・高校生混成の部 8 チーム 24 名 (12 名)：優勝 小田原高 B 準優勝 小田原高 A 3 位秀宣館

令和 7 年もほぼ同様に開催。

○第 5 回秦野市長杯 (7/15 午前)

市内各地区 6 団体の 5 人制（小学生、中学女子、中学男子、高校女子、高校男子）30 名

- ・優勝 大根鶴巻地区 準優勝 本南地区 3 位 東本町地区、南が丘地区

○第 25 回秦野市剣道選手権大会(7/15 午後)

参加人員合計は 109 名と減少しました。 昨年度(146 名)

- ・小学生 1, 2 年の部 6 名 (6 名)：優勝 野々井 謙心 準優勝 武田 莊志
- ・小学生 3, 4 年の部 10 名 (6 名)：優勝 河村 葵衣 準優勝 池山 蒼志
- ・小学生 5, 6 年の部 9 名 (29 名)：優勝 加賀谷 駿太 準優勝 宇都宮 一輝
- ・中学生女子の部 33 名 (28 名)：優勝 古木 日菜 準優勝 山田 結心
- ・中学生男子の部 24 名 (45 名)：優勝 櫻井 泰三 準優勝 早場 峻亮
- ・高校生生の部 15 名 (3 名)：優勝 佐野 謙斗 準優勝 宇都宮 大輝
- ・一般の部 12 名 (9 名)：優勝 柴田 順 準優勝 門倉 祥悟

市長杯・剣道選手権とも、令和 7 年度は、例年通り 7 月祝日 (7/21) に実施します。

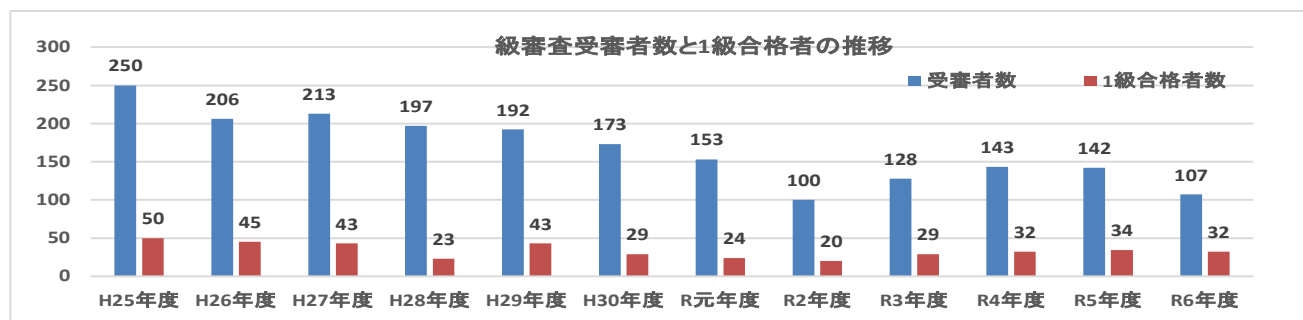
○第 3 回秦野市剣道演武大会:相原杯 (2/9：午前)

剣道形は実技・審判法と並んで剣道の重要な種々の要素を学べるもので、審査の時だけでなく通常の稽古でも剣道形を取り入れ練習するモチベーションにもなればと実施しています。参加の皆さんは立派でよく稽古していることが分かりました。

- ・小学生の部:優勝 吉田航大 秋元悠馬
- ・中学生の部:優勝 志村小夏 奥村美鶴稀 準優勝 鈴木蝶 滑川陽菜

今回は、更に多くの小中学生が参加できるように、道場対抗や学校対抗なども検討します。

7) 級位審査 (審査部：貞弘)



級位審査は、剣道の技術向上のための目標として重要な行事の一つですが、人員規模は昨年度より大幅に減少し、コロナ禍の R2 年度を除くと過去最低でした。やはり小学生の減少がベースにあると考えています。*級の合格基準（目標）を明記した資料に照らし合わせてご指導をお願いします。

- ・前期（8/25） 受審者数 57 名（昨年度 72 名） 合格者数下記
1 級 16 名、2 級 5 名、3 級 12 名、4 級 4 名、5 級 6 名、6 級 4 名、7 級 2 名、8 級 3 名
- ・後期（2/12） 受審者数 50 名（昨年度 70 名） 合格者数下記
1 級 16 名、2 級 3 名、3 級 10 名、4 級 3 名、5 級 4 名、6 級 3 名、7 級 2 名、8 級 2 名

8) 剣道体験会 （普及部：林）

今年度も連盟主催の体験会は実施しませんでした。R 7 年度は、重点項目の小学生準会員拡大へ向け、体験会を実施したいと考えています。一例としては、①親子剣道教室。（スポーツはだの等 SNS で発信、武道祭等で事前に参加者を募集し夏休み 3～4 回実施（費用を頂いた方がやりやすいかも含め検討）②大人の剣道形教室等（剣道実技が難しい父母・祖父母世代向け/お子さんへの剣道への推奨策）等皆さんのご意見を伺いながら進めたく、宜しくお願いします。

5. 秦野市剣道連盟 一般活動

1) 理事会活動 （理事長：河合）

本会議は秦野市剣道連盟の通常の運営における議論、意見交換や諸策の決定への最終機関として重要な位置づけの会議で、今年度も、ほぼ毎月、原則第 1 土曜 18 時～）対面で皆さんと情報交換及び意見交換を通じて、各種決定をしてきました。

引き続き会員の皆さんのご意見を取り入れながら、民主的にまた開かれた市剣連を運営します。尚、欠席の場合は必ず事前に理事長までご連絡ください。

2) 安全衛生委員会の活動 （安全衛生委員会：河合・地正）

今年度は、特に事故報告やヒヤリハットなどの報告は有りませんでした。一方、剣道界では竹刀の破損で大きな事故が発生しました。市剣連としては、各道場、関係者へ竹刀の安全確認の励行徹底をお願いします。竹刀点検の定着を引き続きお願いします。また、今後もヒヤリハット含め何か問題があればタイムリーに発信していただき、事故防止につなげたいと考えています。

また、各道場での活動は学校施設になっていますが、AED に関しては学校内にあっても職員不在時に使用できない点も課題としてあり、稽古場所近くの設置場所の確認をお願いしています。

R7 年度は、永らく実施していなかった AED 取り扱いの勉強会を再度お願いしています。

3) 広報活動 （広報部：事務局：地正・柴田）

一昨年より、有志のご協力によりホームページを数名でメンテナンスできるようになり、最新の情報をお届けできるように努めています。*今後とも『タイムリーに、見やすく』を主眼に改良を継続します。また SNS やタウンニュース等の活用も積極的に取り組みます。

4) 会員の懇親活動《新年会昇段お祝い会》（事務局：柴田）

新年会を昇段祝い（5 段以上は無料招待、7 段は記念品授与）と兼ねて 1 月 26 日に実施しました。

*諸先生方との意見交換の場でもありますので、父母の方含め多くの皆様の参加をお願いします。

6. 秦野市（体育協会など）及び各団体との協賛行事

1) 中体連行事 協賛&協力（審判派遣）（指導部：高橋）

○秦野市中学校選抜剣道大会（4/13）男子団体 1 位北中、女子団体 1 位南ヶ丘中

中ブロック大会(4/27) 女子団体 3 位南ヶ丘中 男子個人 5 位早場

○中学校総合体育大会(剣道) (7/13) 優勝 個人女子大角地 男子櫻井 団体男子北中 女子南ヶ丘

○中学校新人大会（剣道）(10/5)優勝個人女子山田 男子早場 団体女子南ヶ丘 男子鶴巻

*令和 7 年度も、審判員の派遣を予定しています。引き続き、会員におかれては、審判講習受講と、審判員へのご協力をお願いします。

2) 秦野市武道祭（6/30 午後）（秦野市スポーツ協会）（普及部：林）

今年度は、見学者が見てやりたくなるような試行として、3 団体が夫々の時間帯で 40 分程度実際の稽古風景を公開しました。アンケート直後に剣道道場への見学希望者が 2 名ありました。

*時間の組み合わせ等、改善点もありましたので、来年度は更に改良して小学生を主なターゲットとして楽しくする盛り上げ方法をブラッシュアップしたいと考えています。引き続き、ご協力をお願いします。

3) 市内道場への活動支援

各道場の活性化のため、道場主催の行事に対して、市内の他道場のお子さんとも交流参加できることを大きな前提として、申請に基づいて金銭的な支援（原則 1 万円/回）を昨年度より実施しています。

本制度は継続しますので、有効に活用していただき、地域・秦野市の剣道を盛り上げて下さい。

○天下一武道会（4/7）（士道館：石橋）

毎年、道場のお子さんが運営へも参画し、アットホームな大会を開催しています。市外含め 12 団体約 180 名の参加で、級・段別個人戦と各団体全員参加の団体戦を実施しました。また毎年被災者への支援を実施していますが、今年もパンフレット売上 95,200 円にて竹刀 56 本購入し、能登半島の剣道関係者へ寄贈しました。

○大けやき錬成大会（6/29）（2/24）（秀宣館：貞弘）

R6 年度から大けやき大会と銘打って、年 2 回開催しました。県内外から約 350 名の小中学生が参加のもと、午前中回り稽古、午後試合形式など一日充実した錬成会でした。

R7 年度も 2 回計画しています。秦野市内でも多くご参加下さい。

○やまとなでしこ錬成会（8/29）（士道館：石橋）

本錬成会は、女性の剣道人口拡大への重要施策として、市剣連の理事会にて賞品などの金銭面での全面的なバックアップを決定され、今年で 2 回目となりました。R6 年度は昨年度の約 2 倍の 39 名が参加し、気迫のある試合で大いに盛り上がりしました。次回へ向け、会場の広いサブアリーナへの変更を試みましたが、予約上難しく第一武道場となりますが、引き続き支援します。

○47 回川崎剣桜会交流稽古会（11/10）（秦武館：高橋）

毎年約半世紀にわたり、道場間で交互に実施しています。秦武館小中学生と剣連一般の先生方対象で実施しています。今年は専修大学生田キャンパス剣道場にて実施しました。秦野から先生・保護者も含めて、合計 62 名が参加しました。R7 年は秦野で 11/30(日)に実施の予定です。一般の先生方の参加も可能で、外部の方との稽古の機会ですので、多くの先生方のご参加を期待しています。

○南矢名剣道大会（南矢名剣道クラブ：浅見）

今年度 11/10 に予定していましたが、中止しました。しばらく休止となります。

○小学生錬成大会・大声大会（11/10）（士道館：石橋）

南矢名剣道大会の代替行事として、急遽計画し実施しました。

- ・錬成会(午前)16 チーム 80 名 1 位大和市渋谷剣友会 2 位櫻井剣友会 3 位揚武館伊勢原道場
- ・大声大会(午後)10 チーム 50 名 1 位伊勢原剣道クラブ 2 位士道館 A 3 位剣心会

6. 神奈川県剣道連盟、全日本剣道連盟行事への参加（R5 年 3 月～R6 年 2 月）（事務局） 敬称略

○剣道伝達講習会(4/21)小田原スポーツ会館 参加 12 名

出席：萩原芳、林、萩、多田、武田、高橋、込山、地正、貞弘、谷屋、今井照、柴田、

○全日本剣道演武大会(5/4) 出場：萩

○県剣連剣道形講習会(8/24) 出席：林、多田、河合

○第 47 回神奈川県剣道錬成大会(8/4)

出場・市剣連チーム：宇都宮一輝、野田、島田、中山、宇都宮大輝、（監督貞弘）

出場・士道館チーム：吉田航大、吉田寛菜、都紫、山田、上田（監督石橋）

○第 68 回神奈川県青少年剣道選手権大会(12/1) 年代別個人選手権（監督河野修、係員地正）

出場：都紫、早場、河野涼、浜龍、河野翔、近藤大、高倉、門倉、(女子)貞弘、

○第 49 回神奈川県母子剣道大会(10/14)（係員柴田）

出場：志村数深・小夏（敢闘賞を受賞しました！）、大角地陽子・勇吹

○かながわシニアフェスタ(11/9)

出場：秋元、多田

○神奈川県剣道研究会(11/10) 剣道人口減少とその対策 中島一憲先生

出席：河合

○第 71 回神奈川県剣道大会(12/1) 年齢別団体戦

出場：宇都宮一、中山心、早場、今井夏、宇都宮大、近藤、草野、春日、柴田（監督高橋）

○第 23 回神奈川県剣道祭(3/2)

出場：力石、多田、萩原芳、萩原浩、久保寺

○第 154 回全剣連社会体育指導員 初級養成講習会(3/7～3/9)

出席：柴田

○神奈川県剣道連盟一般合同稽古会

皆勤賞：柴田

7. 他団体からの招待試合（指導部）

○第 38 回神奈川県道場少年剣道大会、第 16 回小学生オープン大会(5/25)

秀宣館出場、オープン大会出場 諸星友 3 回戦進出

○第 40 回県央厚木大会(6/2) 9 市のチームが参加：《少年の部 3 位！》 監督高橋智 審判員原田

少年の部（全員小学生）：河村、秋元、諸星、吉田、宇都宮

一般の部(18 歳以上)：高橋愛、廣田、高倉、佐々木歩、古谷、

○平塚市剣連大会(6/30)

今年度は武道祭とも重なり、不参加

○望星旗少年武道大会(12/1) 東海大学主催、近隣剣道団体（道場）小学生団体戦

○第 66 回大和市剣道大会(1/19) 招待 15 団体 監督高橋 審判萩、(1 名欠*)

(※審判は 6 段以上 2 名派遣要求されましたが、1 名のみでした。)

少年の部：宇都宮、吉田、滑川、香取、大角地

一般の部：(先鋒欠)、佐野謙、佐野紗、志村、佐々木、濱、萩原浩

○第 16 回えびな少年少女オープン大会(2/11) 秦野市初参加 招待 8 団体、

審判：萩原浩、今井照、知念 係員：柴田、加賀谷、宇都宮

秀宣館(宇都宮《6 年生の部優勝&最優秀賞》、加賀谷《6 年生の部 3 位》、佐藤、池山)

秦武館(諸星友、河村、諸星瑞、込山)

8. 令和 6 年度 表彰、昇段者 等々 のお知らせ

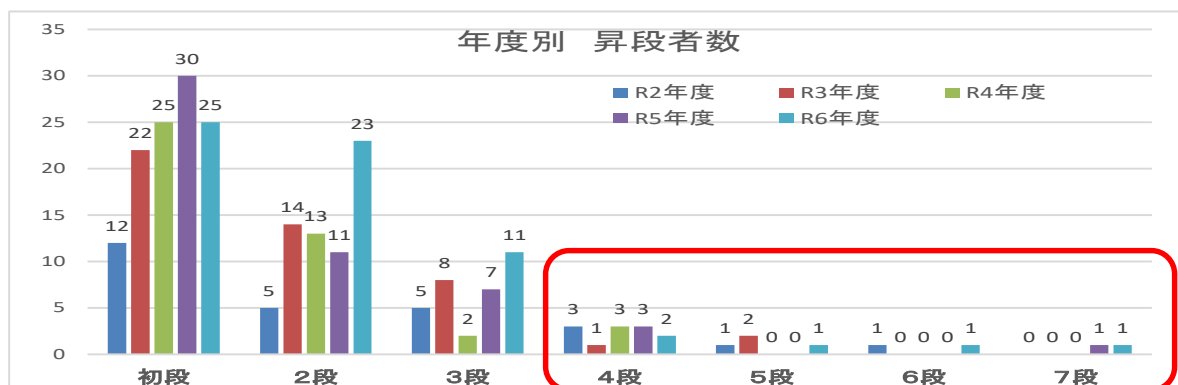
(敬称略)

1) 表彰者

・秦野市スポーツ功労者表彰(2/25) 貞弘 宣行

2) 称号取得者 及び 昇段者

2, 3 段は増加しました。4 段以上の更なるチャレンジを期待しています。



・ 7 段合格者 北村 佳千 (昨年 1 名)

・ 錬士合格者 武田 実 (昨年なし)

・ 6 段合格者 貞弘 宣行 (昨年なし)

・ 5 段合格者 今井 照 (昨年なし)

・ 4 段合格者 2 名 濱 孝友 牧野 雄太郎 (昨年 3 名)

・ 3 段合格者 11 名 上田颯真、亀井裕太、黒木美桜、浦田百仁花、萩原知樹、中田海大、
上里泰心、濱龍雅、佐野謙斗、河野翔太、宇都宮大輝 (昨年 7 名)

・ 2 段合格者 23 名 中村奏音、櫻井泰三、佐藤潤弥、森谷蔵之輔、大津海夏斗、松田遥輝、
畦崎蓮、石原煌生、森優月、安達瑞姫、長谷川実紅、奥村美鶴稀、青木七海、
工藤楓菜、高橋玲名、江森蒼空、早場竣亮、松本泰輔、小松鷹平、志村小夏、
山田結心、中山寧久、古木日菜 (昨年 11 名)

・ 初段合格者 25 名 大角地勇吹、和田吏亜夢、島田空冬、浜葵善、渡部龍、田部井悠斗、
小島和華、香取琉希、加藤柁舟、熊澤幹太、大久保里玖、大向結心、
高木咲良、浅見日向多、滑川陽菜、加賀谷咲希、川又芙結和、高久由衣、
鈴木蝶、芳賀凜緒 大川泰晟、渡曾萌人、森谷杏朱、萩原結衣、加藤葵
(昨年 30 名)